

設 立 趣 旨 書

私たちはあつぎごちゃまぜフェス実行委員会という任意団体として、2018年に活動をスタートさせました。

相模原市障害者施設殺傷事件に象徴されるように、障害者に対して「障害者は生きている価値がない」「怖い」「かわいそう」と考えている人も世の中には少なくありません。しかし、それは真実ではないと私たちは考えています。その人の幸福感に、障害の有無は関係ありません。また、障害を含む、マイノリティの立場にいる人たちが安心して自分らしく生きられる社会は、誰にとっても安心な社会と言えます。当事者の活躍の場を広げ、障害があるからこそ持てる視点や表現を世の中に共有していくことは、社会を変える価値になると考えます。

しかし、現代社会において、障害の有無で教育や生活の場がわけられることが多く、そもそもいろいろな人と関わる機会自体が少なくなっています。そのような中で、誤解や偏見が生まれ、障害のある人たちの生きる権利や「いろいろな人が生きる」ことが社会全体にとってメリットであるという観点が見落とされがちになっているのではないのでしょうか。

そこで私たちは、ごちゃまぜな世界を作るために、「楽しい」「参加・体験型」「主催側もごちゃまぜになる」ことを大切にしながら、下記の活動に取り組んでいきます。

1 インタビュー配信～「知る」きっかけづくり～

障害のあるかたや、インクルーシブにかかわる活動をしている方をSNSでのライブ配信でご紹介し、動画を制作します。

2 イベント企画・運営～「出会う」きっかけづくり～

楽しい参加型のイベント(音楽、アート展示、クラフトワークショップ、マルシェなど)をオンライン・オフラインで開催します。

3 オリジナル作品の企画・制作・販売

アーティストと福祉事業所のコラボ企画や福祉事業所へのオリジナルオーダー製品を企画・販売します。

4 講演・研修・ワークショップ

「多様性」をテーマに、当事者・支援者による講演や、学校・企業などへの研修、アート作品制作体験の出張ワークショップなどを行います。

5 当事者の発信サポート

障害のある方で、ご自身で発信したい、登壇したいという方にむけて、発信の基礎知識や実践をレクチャーし、仕立てや資料制作などのサポートを行います。

任意団体でなく、特定非営利活動法人を設立することで、この活動をより広く周知し、地域や人を巻き込み、社会貢献活動として継続して運営いきたいと考えています。

2022年 1月 31日

法人の名称 NPO法人ごちゃまぜ

設立代表者 小野純子(雨野千晴)